

事業所向け 自己評価表（令和4年度）

事業所名 （ 放課後等デイサービス さくら ）

評価期間 （ 令和4年4月1日～ 令和5年3月31日 ）

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	○			移転後、前よりはスペースが狭くなってしまったが、人数に応じて部屋の使い方や活動も工夫している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			玄関入口はスロープ、フロアー内はバリアフリー化されている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	○			職員間で話し合いプランや改善点等を共有している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者との連絡を密に取るように心がけている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			施設入り口に掲示している。またホームページでも掲載している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後、法人全体として検討中
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部研修はなるべく受講し、職員の質の向上に努めている。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者からアセスメントを取り、職員間で課題を整理し計画作成をしている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員間でアイデアを出し合い計画を立てている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			家族や学校等に聞き取りしながら、静と動のメリハリのプログラムを考えている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			個々の課題を設定し支援している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			友達への意識づけを活動を通して出来るようにしている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			その日の流れの詳細を業務分担表にて作成し、職員の動きが分かりやすいようにしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			担当した職員がその日の様子を意見交換して、情報ノートに記載し共有を図っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	⑱	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にもモニタリングを行い、支援の見直し等を検討している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか		○		基本活動を組み合わせながら、柔軟な支援が出来るよう努めている。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			基本的には児童発達支援管理責任者が参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校迎いの引継ぎ時や書面、担当者会議などで子供の健康の様子や行事等の情報交換をしている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			家族、相談支援専門員との面談や担当者会議等において情報収集している。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	現在、対象児がいない。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	新型コロナウイルス感染防止の為、交流会等実施していない。
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			峡東圏域サービス事業所連絡会に参加している。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			引継ぎ時やアセスメント時に情報共有している。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	現在行えてない。
保護者への説明責任等	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明している。
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談員や各市町村保健師等へ繋ぎを心がけている。
	㉙	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在開催できていない。
	㉚	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	㉛	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			インターネットやSNSを活用し、活動内容などを発信している。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	③⑤	個人情報に十分注意している	○			個人情報の扱いには十分配慮している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			行動、視線、発語に特に視点をおいた形で支援している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	新型コロナウイルス感染防止の為、実施していない。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			定期的に更新を行い、お知らせ等で周知している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に避難訓練を射実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修等に参加している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	現在、該当する利用児はいない。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事故防止委員会を行い、事例など職員間で共有している。